

## 平成22年度後発医薬品安心使用促進事業の実施結果について

### 1. 後発医薬品モニター薬局等調査の実施

(目的)

県内の後発医薬品の使用状況の推移や後発医薬品の調剤に係る意識変化などについて把握することにより、今後の対応策検討の資料等とする。

(調査対象)

モニター薬局：20薬局

・宇都宮市(5薬局) ・ 県西地区(2薬局) ・ 県東地区(2薬局)  
・ 県南地区(5薬局) ・ 県北地区(3薬局) ・ 安足地区(3薬局)

医薬品卸売販売業：5社

(調査結果)

→後発医薬品モニター薬局等調査報告書の作成・公表

(内容：モニター調査結果取りまとめ及び、平成21年度アンケートの比較分析等)

### 2. 薬と健康の週間におけるイベント「お薬相談・展示会」での啓発

- ・後発医薬品Q&Aコーナー設置
- ・患者啓発用パンフレット「ジェネリック医薬品の話」の配布  
「お薬相談・展示会」(主催：栃木県、県薬剤師会等)  
日時 平成22年10月16日(土)10:00~17:00  
平成22年10月17日(日)10:00~17:00  
場所 ベルモール1Fカリヨンプラザ(宇都宮市陽東)

### 3. 協議会の開催

- ・日時：平成22年10月29日(金)13:30~
- ・場所：ホテル東日本宇都宮

### 4. 啓発パンフレット(患者向け)の増刷・配布

- ・平成21年度：115,000部
  - ・平成22年度：85,000部
- 200,000部

### 5. 後発医薬品に係る講座の開催

- ・日時：H22.11.18(10:00~12:00)／場所：峰地域コミュニティセンター
- ・対象：地域住民(約20名)を対象とした後発医薬品に係る講話(講師=薬務課職員)

### 6. とちぎネットアンケート(県民対象)の実施

平成22年12月実施／回答者135名(対象者242名, 回答率55.8%)

## 平成23年度後発医薬品安心使用促進事業の実施状況について

1. 後発医薬品モニター薬局等調査の継続実施（平成24年度まで）
  - ・22年度と同じモニター薬局及び医薬品卸売販売業者について、後発医薬品の調剤・取扱いに係る調査を実施した。（平成23年7月）
  - 後発医薬品モニター薬局等調査報告書（案）の作成（H23.11）
2. とちぎネットアンケート（県民対象）の実施  
平成23年8月実施／回答者128名（対象者277名，回答率46.2%）
3. 後発医薬品に係る講座の開催
  - ・日時：H23.8.25(10:00～12:00)／場所：御幸ヶ原地域コミュニティセンター
  - ・地域住民（約50名）を対象とした後発品医薬品に係る講話（講師＝薬務課職員）
4. 薬と健康の週間におけるイベント「お薬相談・展示会」での啓発
  - ・後発医薬品Q&Aコーナー設置
  - ・患者啓発用パンフレット「ジェネリック医薬品の話」の配布
  - 「お薬相談・展示会」（主催：栃木県、県薬剤師会等）
    - 日時 平成23年10月22日(土)11:00～16:00
    - 平成22年10月23日(日)11:00～16:00
    - 場所 ベルモール1Fカリヨンプラザ（宇都宮市陽東）
5. 協議会の開催
  - ・日時：平成23年11月2日（水）13:30～
  - ・場所：ホテル東日本宇都宮
6. 後発医薬品採用ノウハウ事業の実施（予定）
  - ①「後発医薬品採用ガイドブック ～医療関係者用～」(案)の作成
    - 県庁ホームページへの掲載(23年内)、印刷配布(23年度内)
  - ② 後発医薬品採用基準等研修会の開催
    - 日時 平成24年2月19日（日）
    - 午後1時30分～4時10分
    - 場所 とちぎ健康の森 1階講堂  
(栃木県宇都宮市駒生町3337-1)
    - 講演1（13:35～14:30）  
「後発医薬品採用の考え方や課題について（仮題）」  
講師：広域病院等薬剤部（長）、薬務課職員  
～ 休憩 ～（14:30～14:40）
    - 講演2（14:40～16:10）  
「後発医薬品の品質等について（仮題）」  
「先発医薬品と後発医薬品の生物学的同等性について（仮題）」  
講師：国立医薬品食品衛生研究所薬品部  
四方田千佳子第一室長